**Iサムエル22：1-2、22-23　苦難の波及効果**

**信徒に苦難を与えられたのはまことの伝道をしなさいと**

**いうこと**

**結論**

**苦難への姿勢を変えよう**

大変なこと、苦しいこと

　　→悪いことではない

苦難を正しく知って

苦難を楽しむ人となろう

1)真実に主の前に立ち

　捨てるべきことを捨てよう

2)絶対に必要なものを

　備えよう（残りは譲る）

苦難を通して、

神様の前に正しく立って

正しく始める成熟した信徒に

なろう

1)私がonlyの人となること

2)人に縛られない

3)人を大事にする

4)まことの伝道の道を

　邪魔されずに歩む

神様は、苦難を通しても

このように歩ませてくださる

インマヌエル、キリストで

幸せなら、幸せは奪われる

ことはない。

神様の計画の中に入ろう

私のアイデンティティを失わないように、中心を固定しよう。

どんなことがあっても、

私は

　神様の契約を成す契約の民で

　神様が握られている神の民

つまり、伝道者だと

忘れないようにしよう。

苦難も契約のためなので、

　崩れる必要はない。

祝福も契約のためなので

　興奮したり高ぶる必要もない。

中心の軸が契約なら、

　消化していくことができる

ダビデが苦難の道を歩んだ。

そのとき、2種類の人が現れた

ドエク（サウル王に言いつけて

　　　　祭司を殺した）

ケイラ（ダビデを売ろうとして

　　　　いた）

このような敵になる人が出て

ヨナタン（契約確認して励ました）

400名（いのちをかけて集まった）

このようないのちをかける

　人々が出てきた。

苦難を通して人が区別される。

苦難を受ける理由の一つが、

　このように白黒はっきりさせて

　契約の道を行けるようにさせる

**苦難の波及効果**

**まず、信者自身に**

1.実際に福音の価値が分かるように

　される。（ことばだけではなく

　いのちをかけて告白するように）

1)十字架を負ってついてきなさいと

　言われた（マタイ16:24）

　福音が自分のいのちより大事だと

　わかっているのかと問われる

2)パウロは宝と思っていたことは、

すべて、ちりあくたと言うほど

（ピリピ3:8）

3)刑務所の中で、そこで問題に

ならないほど、福音は私の宝だと

告白（Ⅱコリント4:7）

福音の価値に目が開かれると同時に

2.福音でないもの（自我）の崩壊

1)頼りにしていたもの（人、物、思想

　未来、目標）

頼るものでないとわかる

2)ゆずれない主張

　なんでもないとわかるようになる

3)人それぞれの目標、希望

　それが、私の生きる目標ではない

　福音の価値がわかると、価値のない

　もののために生きるのではないと

　目が開かれる

3.神様はonlyの人となることを

願っておられ、苦難を通して

1)onlyイエスとなる

そうなると

2)主題はonly神の国となる

　豊かさ、高さ、勉強、健康、外見、

衣食住は主題でない

　霊的にシンプルな人となる

3)only聖霊

　できるできない、言い訳はなし

**苦難の波及効果**

**また、まわりを整理**

1.ちがう人たちがいる

　（表に現れる）

1)福音の人から遠ざかる

2)放置する人

3)攻撃する人

　苦難がないと現れない。

　大変なことが悪いことなのでは

ない

2.ともに歩いていたと思っていた

のに基本、基準がちがうことが

あらわれる

1)損得（利益）が基準の人

2)人脈、血縁の流れが基準の人

3)人情、同情が基準の人

　苦難がないなら、良いものだが

　これらを基準にしている

　人が現れ、そちらに流れる

3.福音の人だけが残る

1)福音優先

　損得越え、情を越え

　家族、血縁を越える

　その人だけが残る

　それでこそ、契約なされる

2)使命優先

3)祈り優先

苦難だと思っていたのが

　神様がこの作業をなさっていた

**その準備ができてこそ**

**まことの伝道ができる**

1.ゴリヤテ倒して、戦争に

　勝ったが、まことの伝道の

　ために、正しく始めるために

1)動機、すべて捨てる

2)不信仰、言い訳

3)ワンネスになる

　このように始めることが

　正しい始まり

　初代教会はこのように

　はじまった

2.神様がなさる

神様がはじめられる

　＝まことの伝道

1)信徒にすべての問題が

　終わったと答えをくださる

　　(使1:1)

2)神の国、世界福音化

　伝道に結論出すように

される（使1:3）

3)いろいろなこと知らなくて

　よい（使1:7）

4)聖霊の満たしで証人

（使1:8）

動機、言い訳、他の方法では

できない、正しい始まりを

すべき

5)神様がなさるように

　祈りに専念（使1:14）

これがまことの伝道

3.教会を通してなされる

1)礼拝中心の人が集まる

2)礼拝で受けた恵みと

　みことばが個人の祈りになる

その答えで

　↓

3)現場でみことば運動が起きる

4)自然に拡散する